

シンポジウム『東京都における養育支援訪問事業の改善課題に関する調査研究 報告』

～児童虐待下の子どもの精神的回復を保障していくには～

いつも大変お世話になり、ありがとうございます。

3月20日にシンポジウムを開催致します。

この1年間、不適切な養育下の子どもの支援である養育支援訪問事業の育児・家事援助がどれだけ自治体で実施されているか、そして育児・家事援助を通して子どもに関わる支援者がどれだけ子どもの精神的回復に寄与しているかを調査してみました。

子どもは信頼できる大人から受けとめられる体験を通して初めて安全・安心・安定を獲得することか出来ます。子どもが安心して精神的に安定するまでには、関わってくれる人と関わる時間の長さが重要です。

親からも行政からも放置されて精神的回復も得られないままの子どもは、やがてアルコールやギャンブル等の依存症・嗜癖から逃れられない人生を歩むこととなります。少年事件の少年の6割強は児童虐待の被害者でもあるのです。

今後の制度改善のための課題を検討することを通して、全ての子どもが安全と安心と精神的な安定を獲得ができるように、制度が発展することを願っています。

どうか、シンポジウムへのご出席を賜りますように、よろしくお願い申し上げます。

記

- (1) 構成 第1部 調査報告 第2部 シンポジウム
- (2) シンポジスト 芹沢俊介・柳澤純・小島美樹・寺出壽美子
- (3) 日時 2022年3月20日(日)13時～16時
- (4) 場所 主婦会館7階(四ツ谷駅1分)
- (5) 費用 無料
- (6) 申込 会場参加・Zoom(メール swkoza@jp)・(FAX 03-3416-6994)
- (7) 共催 主婦連合会・主婦会館
- (8) 助成 日本財団

協会HPに、シンポジウムのチラシが掲載されています。

特定非営利活動法人 日本子どもソーシャルワ協会
理事長 寺出 壽美子